確保器/懸垂下降器　2008年改訂版

シンチ取扱説明書

製品の使用前に必ずこの取扱説明書を通読し、正しい使用方法をご理解ください。

使用方法の理解を深めるために、モンベルウェブサイト上のシンチ紹介ページの詳細にも
図解の「シンチ取扱説明書」と「FAQ's(よくある質問集)」がありますので本説明書と合わせてお読みください。
また、お読みいただいた後も大切に保管し、ご使用の参考にしてください。

警　告

シンチの使用者には使用前にこの取扱説明書を読み、正しい使用方法を理解する必要があります。
使用者はクライミングやこの製品を使用する全ての行為が、潜在的に危険をはらんでいることを十分理解して下さい。使用者は自己のシンチの使用によるリスクやケガ・死亡に対して責任を負います。もし、その責任について受入れられない場合はシンチを使用しないでください。
米国トランゴ社並びに輸入販売元である株式会社ベルカディアは、本製品の使用によって生じたあらゆる人的ならびに物的損害、傷害、死亡事故に対し、一切の責任を負いません。

製品寿命

シンチの製品寿命については製品の使用頻度や手入れ、使用時並びに保管時の環境により左右されますので、時限的な目安を設けることはできません。そのため使用前に毎回必ず、破損や消耗による変形・異常が見られないか、確認を行ってください。もし、腐食やシャープエッジ(ロープを傷つける可能性がある金属部の尖ったキズ)、破損・消耗による何らかの異常が認められる場合はただちにその使用をやめ、新しいシンチを使用してください。

保　証

シンチについて素材の不良もしくは製造上の不具合に対して購入日から2年間の保証をいたします。ただし以下の場合は保証の対象外となります。

・使用による通常の消耗　・改造を加えたもの　・保管が不適切だったもの　・メンテナンスの不十分であったもの
・事故や過失、誤った使用方法が原因となった損傷

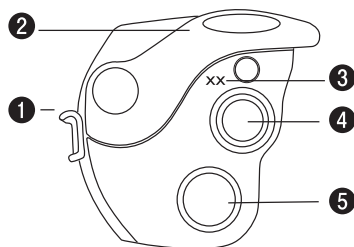
重　要

- この製品はスポーツクライミングにおけるハーネスとの併用によるビレイ(リードクライマーに対する確保)専用に設計されています。リードクライマーに対するビレイでは、固定支点へシンチを直接連結しての使用は絶対にしないでください。
- シンチはロープを使ったソロクライミングのビレイ用には設計されていません。絶対にソロクライミングには使用しないでください。
- シンチは自動確保器ではありません。したがって作動状況に対して絶え間ない注視・コントロールが求められます。どんな時にもブレーキハンドによるコントロールを維持してください。絶対にブレーキハンドを放してはいけません。
- シンチの性能は使用するロープの直径、消耗具合、濡れ、あるいは凍結などの状況に影響を受けます。これらに対処する技術を必ず安全な条件の下で練習をしてから実際のフィールドでご使用ください。
- この取扱説明書の内容はクライミングやラッペリング(懸垂下降)自体を解説指導するものではありません。シンチの使用前にクライミングやラッペリング技術の完全習得が前提として求められます。
- 岩角等との接触による強い摩擦があったり、ロープ経路が曲折しているとロワーリング(クライマーに対する吊り降ろし)が困難になります。
- 使用前には毎回必ず、ロープを強く引っ張りシンチの作動(ロープのロック)を確認してください。

メンテナンス

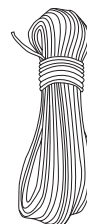
湿気のあるところや海の近くでシンチを使用すると表面的なわずかな錆(さび)が発生することがあります。使用後は保管の前に、水分や汚れを取り除き、完全に乾燥させてください。もし錆が発生してしまった場合は、市販の錆取り剤やスチールたわしを使って除去できます。

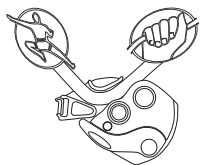
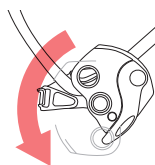
部位名称

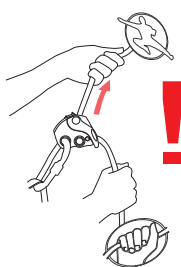
❶リリースタブ
❷リリースレバー
❸バッチナンバー
❹回転軸穴(ここには何も取り付けないでください)
❺カラビナホール(シンチをハーネスのビレイループと連結する際、ロッキングカラビナを通します)

対応ロープ

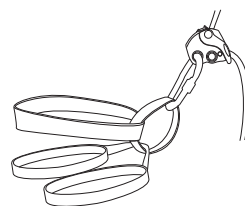
UIAAおよびCE認定(EN892)のシングルロープ(9.4mm-11mm)を利用してください。その他のロープの使用は大変危険ですので絶対に使用しないでください。ロープについても使用の度に異常がないか確認をしてください。

輸入販売元：株式会社モンベル　本　社　〒550-0013 大阪市西区新町2-2-2
商品についてのお問い合わせはカスタマー・サービスまで　Tel. 06-6531-3544　フリーコール：0088-22-0031
モンベルホームページ　http://www.montbell.jp

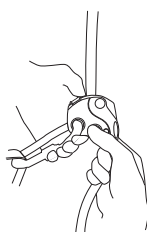
07-256-1212

シンチの装着

❶シンチの中にロープを装填してください。

❷シンチを閉じ、ロッキングカラビナ（EN12275認証製品）を用いてクライミングハーネス（EN 12277）のビレイループに取り付けてください。

⚠ 重　要

①シンチにロープが正しく装填されていれば、クライマーにつながるロープが強く引かれたとき、シンチはロープをロックします。ロックせずロープが流れる場合、ロープは正しく装填されていません。シンチへの誤ったロープの装填は大怪我や死亡事故などの重大な結果に至ります。

②ビレイやラッペルを始める前に動作確認（ロープに対するロック）のため、確保対象のクライマー（あるいはラッペルの支点）につながるロープを強く引いてみてください。

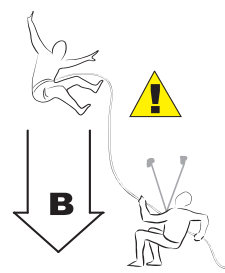
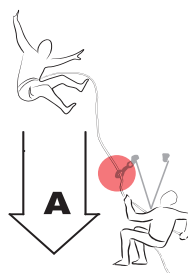
③シンチはロッキング（環付）カラビナ（EN12275認証製品）を用いてクライミングハーネス（EN12277）のビレイループに取り付けてください。リードクライマーに対するビレイのときは岩場に設置されたアンカー（固定確保支点）に直接取り付けないでください。

ビレイ（リードクライマーに対する確保）

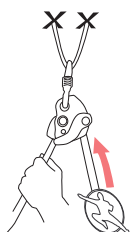
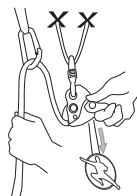
❶ブレーキエンドのロープを中指から小指の3指で握りながら、親指と人差指で回転軸穴を両側から挟みます。この手がブレーキハンドになります。ロープの操出しは反対の手で行います。

❷ビレイ中にシンチがロープをロックしたら解除のため、ロープを繰り出していた手でリリースタブをわずかに押下げてください。このとき、ブレーキエンドのロープは決して放さないでください。（図では右手）

❸ビレイ中（ロープを繰り出している状況）はリリースタブを押し下げないでください。リリースタブが解除されたままにすると、シンチは本来の働きをせずクライマーの墜落を阻止できません。図ではロープ繰出し側の手でタブを開放しながら本来ブレーキエンドを握る手でロープを繰出している誤った危険な状態です。絶対にブレーキハンドを放してはいけません。

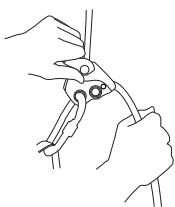
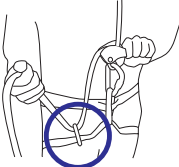
⚠ 重　要

リードクライマーは常にロープがビレイ地点より上にあるプロテクションポイントを通過していることを常に確認してください。(A) 登り出し後、最初のプロテクションを得る前に墜落した場合 (B)、クライマーはグランドフォールするか、または最大落下係数2の墜落となってリードクライマーとビレイヤーへ致命的な衝撃が及ぶ可能性があります。

※落下係数＝墜落距離÷ロープの繰出し長。マルチピッチルートの2ピッチ目以降で最初のプロテクションを得る前に墜落すると落下係数2です。

アンカー（支点）からの確保（セカンドに対して）

❶常にブレーキエンドのロープを制御してください。

❷ロワーリングの際は、ロープのブレーキエンドをカラビナに通して流れる方向を変えてやることでコントロールしやすくなります。

❸リードクライマーへのビレイではアンカー（支点）に直接シンチを取付けないでください。リードに対するビレイは、必ずビレイヤーのハーネスにシンチを取付けて行ってください。

ロワー／ラッペル（吊り降ろし／懸垂下降）

❶しっかりとブレーキハンドを握ってください。図のようにリリースレバーは必ずレバー回転軸付根に親指を添えレバー全体を握り引いてください。レバーの先端だけに力を掛けるとレバー損傷の原因になります。

❷ハーネスのレッグループに架けたカラビナへブレーキエンドのロープを通し流れの向きを変えてやるとコントロールが楽になります。

❸ラッペルの際のロープセットは図の通りです（結びは「8の字結び」）。完全に体重を預ける前にロープが抜けないかを必ず確認してください。長くそしてスピードの速いラッペルはシンチの金属部が過熱してロープの溶解などに至り大変危険です。十分にスピードをコントロールしてください。